

科目名		建築特講				
担当教員		伊與部 聖奈・廣田 邦昭		実務授業の有無	有	
対象学科		建築士学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方		建築空間の表現・伝達に必須である設計の表現方法の一つとして必要な①デッサン（鉛筆）又はRevit Architecture ユーザー試験のいずれかを選択。②SketchUp・Twinmotionを使えるようにする。				
学習目標 (到達目標)		設計提案のノウハウを体得するを目的とします。各種のツールを効果的に使って説得力のあるプレゼンスキルを身に付ける事を目指します。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①REVIT検定対策本 ②デッサン資料・動画資料				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	選択1 デッサン（鉛筆）・（選択授業） ①立体をイメージし、構築していく上での、デッサン			方法：デッサン力を身に付ければ、形状認識の能力も上がり、手書きパースによるプレゼンの一手法として活用する。		
	選択2 Revit Architectureユーザー試験 ①Revit検定対策授業			方法：対策本をもとに検定対策を実施し、合格を目指す。課題→講評→解説を繰り返すことでスキルを身に付け、合格基準到達を目指す。		
2	・ SketchUp ①SketchUpでモデリング			方法：資料を基にSketchUpで簡単なモデリングが出来るようにする。		
3	・ Twinmotion ①Twinmotionで添景や背景の設定を行う。			方法：資料を基にTwinmotionの基本操作を学ぶ。		
4	Revit・SketchUP・Twinmotion ①各ソフトの連携について学ぶ			TwinmotionにSketchUPで一たを取り込んで活用する方法を学ぶ。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
課題評価	取組姿勢			デッサンと、Revit、いずれか選択し、その後、SketchUP・Twinmotionで合流する授業形態となっている。 ※REVIT検定対策授業の評価は検定得点を採用する。		
	80 %	20 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		伊與部 聖奈:意匠設計実務4年 廣田 邦昭:店舗設計デザイン事務所16年勤務を経て現在個人事務所 実務合計45年				